

令和元年度 科目名 ( 倫理 )

1 対象年次、単位数、使用教科書

2年次以上 (選択必修)、2単位、倫理 (東京書籍)

2 科目の目標

青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について、先人の思想・哲学、宗教などの学習を通して理解と思索を深めさせる。

3 評価規準 (何を評価するか)

- 1、教科書の内容を理解し、基本的な事項について知識を深めることができるか。
- 2、文化・社会・思想について興味・関心を持ち、さらにそれを深める意欲を持っているか。
- 3、文化・社会・思想について自己の意見を持ち、それを表明することができるか。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

- ・ 評価規準のうち、1についてはレポート・テストで評価する。
- ・ 評価規準の2、3についてはそれにかかわるレポートの設問で評価する。
- ・ 評価はレポートの成績、テストの成績を中心に、レポートの提出時期、スクーリング出席時数 (単位認定に必要な時数を超える時数) も算入して決定する。

5 試験範囲

- ・ R1～R3の範囲で7月試験、R4～R6の範囲で1月試験を実施する。

6 スクーリングの内容、レポートの内容・計画

- ・ スクーリングは生徒の質問に対応することを中心にし、必要に応じて教科書・レポートの内容についての補足説明をおこなう。
- ・ レポートの内容・計画は右ページの表に。

R	項目	内容	教科書	時期
1	青年期の課題と自己形成 変容する家族	人間とは何か、青年期の意義・位置づけ・特徴、主体性の確立と自己理解、幸福と生きがい、変容する家族	6～19 186～189	5月 月上旬
2	人間としての自覚 生命倫理	哲学すること、ギリシャの思想、中国の思想、キリスト教、生命倫理	22～55 127 176～180	5月 月下旬
3	人間としての自覚 日本人の精神風土と思想 環境と環境倫理	イスラーム教、仏教、日本人の精神風土・宗教観・倫理観・美意識、環境と環境倫理	48 56～65 77～81 181～185	6月 月中旬
4	外来思想と伝統思想 豊かな社会とは何か	仏教と日本人の思想形成、儒教の日本的展開、西洋思想と近代的な自己の確立、国際社会での日本人、豊かな社会とは何か	81～118 127 199～202	10月 月中旬
5	現代を生きる人間の倫理 グローバル化する社会の中 の人間	ルネサンス・宗教改革、啓蒙思想、社会契約説、人格の尊厳・カント、グローバル化する社会の中の人間	123～142 195～198	11月 月上旬
6	現代を生きる人間の倫理 情報社会の中の人間	人倫の思想・ヘーゲル、功利主義、社会主義思想、実存哲学、民主社会の成熟のために、情報社会の中の人間	143～162 170～172 190～194	12月 月上旬